

A6490	阪神8000系「8217～8218」旧塗装 6両セット	予価:19,400円(税別)
		JANコード:125519 カートン内入数:12

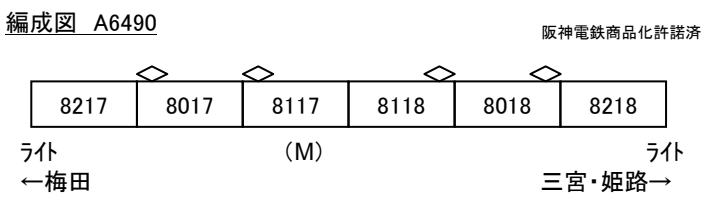
A6494	阪神8000系「8231～8232」旧塗装・連結器交換 6両セット	予価:19,400円(税別)
		JANコード:125557 カートン内入数:12

商品形態	Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入り)
実車	1984(昭和59)年、阪神電鉄では新しい急行用電車として8000系を登場させました。省エネ効果と製造コストを両立させた界磁チョップ制御が阪神電鉄の新造車としては初めて採用されたほか、阪神電鉄では初の6両固定編成となりました。8000系は1995(平成7)年まで12年に亘って製造されたため、様々なバリエーションが存在します。1984(昭和59)年秋から投入が開始されたグループは前面形状の変更や側面窓の一段下降化などのマイナーチェンジが行われ、イメージを一新しています。1986(昭和61)年に製造されたグループからは冷房装置が集約分散式に変更された他、天井が従来の車両と比較して約50mm高くなって居住性が向上しました。1995(平成7)年1月17日に発生した「阪神・淡路大震災」によって被災した車両があり、一部に編成の組み換えや廃車車両の代替新造などが行われ、現在は19編成、114両が阪神電鉄の主力車両として活躍しています。2006(平成18)年以降、阪神なんば線開業に伴う近鉄線との乗入運転準備の一環として8000系をはじめとする阪神電鉄所属車両の連結器交換が順次行われました。交換に際して車体裾に切り欠きの設置された車両が存在しています。
商品概要	・マイクロエース私鉄電車シリーズの更なる充実 ・人気の阪神8000系のバリエーションモデル ・ヘッドライト、テールライト、急行表示灯、行先表示器、種別表示器点灯。LED使用 ・フライホイール付動力ユニット搭載

伝統の赤胴車カラー



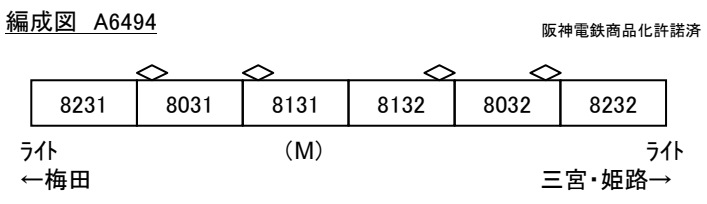
- ・側面窓が独立しているボディ
- ・前面下部(貫通扉下)が欠き取られていない姿
- ・A6494と異なるスカートを装着
- ・屋上のフットラインを印刷
- ・屋根上ヒューズ箱上面に車両ナンバーを印刷



伝統の赤胴車カラー・連結器交換後



- ・側面窓が独立しているボディ
- ・前面下部(貫通扉下)が欠き取られた姿
- ・A6490と異なるスカートを装着
- ・屋上のフットラインを印刷
- ・屋根上ヒューズ箱上面に車両ナンバーを印刷



オプション	幅狭室内灯:G0005/G0006/G0007/G0008, マイクロカプラー密連・黒:F0001
付属品	行先シール